

マルチファイルプレーヤー

KAMELEON (MFP-330) 取扱説明書 別冊 2

Ver.1.03

＜管理用 Web サイト＞



株式会社 オンテック

The logo for Ontec, featuring the word "ontec" in a bold, blue, sans-serif font. A small red triangle is positioned above the letter 'o'.

改訂履歴

改定日	改訂番号	改訂ページ	改訂内容
2015/12/11	1.00.0		新規作成 (web ver.1.02.3)
2016/1/14	1.01.0		Export 先・転送先として USB 以外も設定可能 ログ取得機能追加 転送ページに転送先情報の表示を追加 (web ver.1.03.4)
2016/3/1	1.02.0	P7 P8 P11	管理用 web サイト TOP 画面 更新 「2.7) 転送用ドライブ内・SSD 内 ファイル一覧」の機能を改善 「2.9) SSD 内の全ファイル削除」の機能を改善 (web ver.1.03.6.2)
2016/3/10	1.03.0	P7 P15 P17	管理用 web サイト TOP 画面 更新 「2.13) IP アドレスの変更」に DHCP・DNS の表記を追加 「2.14) マシン名の設定」の項目を追加 (web ver.1.03.7.0)

目次

はじめに	1
概 要	1
おことわり	1
1. 概要説明	2
1) ネットワーク接続	2
2. 操作説明	3
1) 電源の投入時の注意	3
2) Wi-Fi 接続	3
3) 有線 LAN 接続	4
4) 転送用ページへの接続	5
5) 管理画面へのリンク・パスワード認証	6
6) 管理用 WEB サイト TOP 画面	7
7) 転送用ドライブ内・SSD 内 ファイル一覧	8
8) SSD 内全ファイル EXPORT	9
9) SSD 内の全ファイル削除	11
10) マウント状況の確認	12
11) 内蔵 SSD のマウント・その他ドライブのマウント	13
12) 本体ログの取得	14
13) IP アドレスの変更	15
14) マシン名の設定	17
15) パスワード変更	18
16) EXPORT 状態	18
17) エラー画面	18
3. その他	19
1) 転送用ページでの転送先表示と容量について	19
2) 転送用ドライブ(内蔵 SSD 以外)内のファイルの取り扱い	20

はじめに

本書はマルチファイルプレーヤー KAMELEON(MFP-330)の管理用 Web サイトについて記述した別冊 2 です。かならず、取扱説明書と併せてお読みください。

本書では、

Android 端末 = Google 社 Android OS 搭載のスマートフォン・タブレット

iOS デバイス = apple 社 iOS 搭載のスマートフォン(iPhone シリーズ)・タブレット(iPad シリーズ)

スマートフォン =上記の総称として

以上のように定義して説明します。

概 要

Wi-Fi もしくは、有線 LAN で KAMELEON に接続した PC やスマートフォンから、管理用 web サイトにウェブブラウザからアクセスすることで、内蔵 SSD 内のファイルの管理や Wi-Fi 転送機能用のドライブの設定(マウント操作)、IP アドレスの設定を行うことができます。

おことわり

現在、Wi-Fi ファイル転送機能非搭載のお客様及び、β版搭載のお客様におかれまして、リリース版へのアップデートは、お客様にて実施頂ける予定をしておりましたが、変更内容の都合で、センドバックでの対応とさせていただきます。

何卒、ご了承のほどお願い申し上げます。

1. 概要説明

本機能の概要を説明します。

1) ネットワーク接続

管理用 web サイトの運用イメージです。



図 1 ネットワーク接続/

KAMELEON に USB の Wi-Fi アダプタ (ソフトウェアルータ) を装備し、スマートフォンはその Wi-Fi アダプタにネットワーク接続します。(Wi-Fi ファイル転送機能と共通)

もしくは、背面の LAN ポートを使用して、PC 等を LAN 接続します。

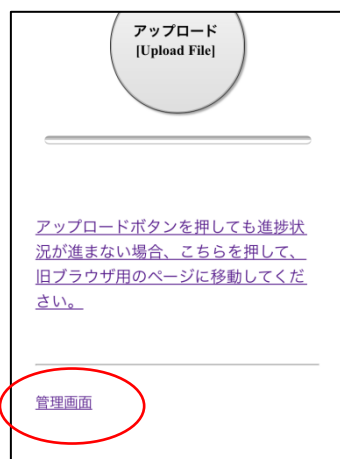


図 2 ファイル転送画面からリンク

Wi-Fi 接続の場合、ファイル転送機能と同様のアドレスへアクセスします。

有線 LAN の場合、LAN ポートのアドレスへアクセスします。

そこにある〔管理画面〕のリンクから、パスワード認証画面を経由して、管理画面へアクセスが出来ます。

管理画面では、内蔵 SSD 内のファイルの全削除・全 Export、Wi-Fi 転送機能の転送先ドライブ設定等の操作の他、各 IP アドレスの設定や管理画面のパスワード設定、本体のログ取得などが行えます。

2. 操作説明

管理用 Web サイトへのアクセス方法や各ページでの操作方法を説明します。

1) 電源の投入時の注意

電源投入前に、Wi-Fi アダプタを本体に接続してください。



図 3 USB 接続 Wi-Fi アダプタ ※付属品

2) Wi-Fi 接続

※有線 LAN で使用する場合は、「3) 有線 LAN 接続」をご覧ください。

概ね共通の手順を説明します。(画面の iPhone6 を例に記述します。)

詳しい端末の操作方法是、それぞれのマニュアルをご覧ください。

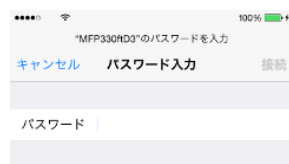
①Wi-Fi 機能を ON にする



設定画面を開き、Wi-Fi 機能を ON にしてください。

図 4 Wi-Fi 機能 ON

②Wi-Fi アダプタに接続します



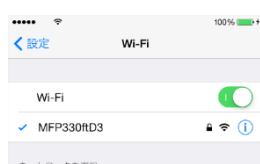
Wi-Fi 機能が ON になると、付近の Wi-Fi 電波を検索されます。

検索された中から「MFP330ft####」(####はシリアルの下 4 桁)※ 1 を選択してください。

SSID の変更をご希望されたお客様は、その SSID を選択してください。

図 5 MFP330ft * 選択

③パスワードを入力する




ネットワークのパスワードを入力してください。

パスワードは、「1 1 1 1 1 1 1 1 1 1」(1 が 10 個)※1 です。

パスワードの変更をご希望されたお客様は、そのパスワードを入力してください。

図 6 接続完了

多くの機種では、接続が完了すると、「接続」「接続中」「✓」など、完了したことを示す表示に変わり、電波の表示に  のようなマークが表示されます。

この時、Wi-Fi の IP アドレスを確認頂くと、「192.168.159.*」(* は 2～253)という値が割り振られます。

補足>>

- ※1：出荷時ヒアリングシートを頂いたお客様は、その設定になります。
設定は、本体 MENU⇒Manage File⇒Wi-Fi で確認できます。
- 上記の設定が完了すると、設定中はインターネットへの接続が出来なくなります。
外部へ接続する場合、Wi-Fi 機能を切って頂くか、インターネットへ通じる Wi-Fi に切り替えてください。

3) 有線 LAN 接続

※Wi-Fi 接続で使用する場合は、「2) Wi-Fi 接続」をご覧ください。

KAMELEON の LAN ポートを使用して、有線 LAN で接続できます。



図 7 背面 LAN ポート

接続する PC 等の IP アドレスを設定して通信ができるようにし、KAMELEON の LAN ポートから LAN ケーブルで PC 等と接続してください。

LAN ポートの IP アドレス等の初期値は、192.168.0.30 / 255.255.255.0 ゲートウェイ = 設定なしです。

4) 転送用ページへの接続

通信の設定が完了したら、転送用ページを開きます。


①ブラウザアプリの起動

iPhone 等の iOS デバイスであれば「Safari」



Android 端末であれば、「ブラウザ」



もしくは、「Chrome」  がプリインストールされていると思いますので、それらのアプリを起動

して下さい。PC の場合も、「Safari」「Internet Explorer」「Chrome」等をご利用ください。

②転送用ページを表示する

<Wi-Fi の場合>

起動したらアドレス欄に `http://12.1.1.1`(初期値)
と入力してください。右のようなページが表示されます。

もし、バーコードリーダーなどのアプリがインストールされている場合、下記の QR コードからも開けます。



`http://12.1.1.1`(初期値)

※バーコードリーダーがブラウザ機能を持っている場合、そのアプリで右のページが開くことがありますが、推奨アプリで開き直すようにして下さい。

<PC の場合>

起動したらアドレス欄に `http://192.168.0.30`(初期値)
と入力してください。

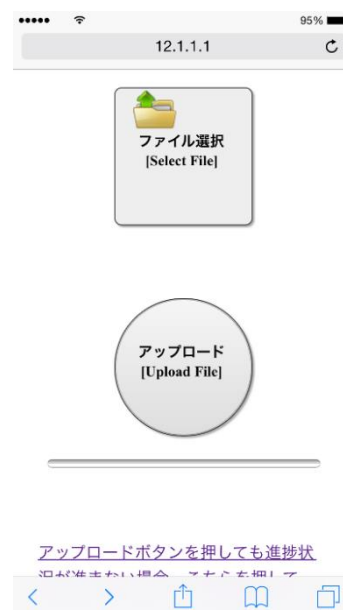


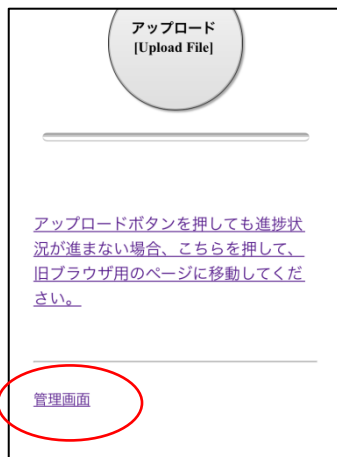
図 8 転送用ページ / iPhone

(※変更された場合は、ファイル転送用サイトの IP アドレスの値になります。)

5) 管理画面へのリンク・パスワード認証

開いたページの最下部までページをスクロールすると、管理画面へのリンクがあります。

①ファイルの選択



上記のページが表示されたら、最下部までページをスクロールしてください。

〔管理画面〕の文字をクリックすると、管理画面へ入るためのパスワード認証画面に移動します。

図 9 管理画面リンク

②パスワード認証



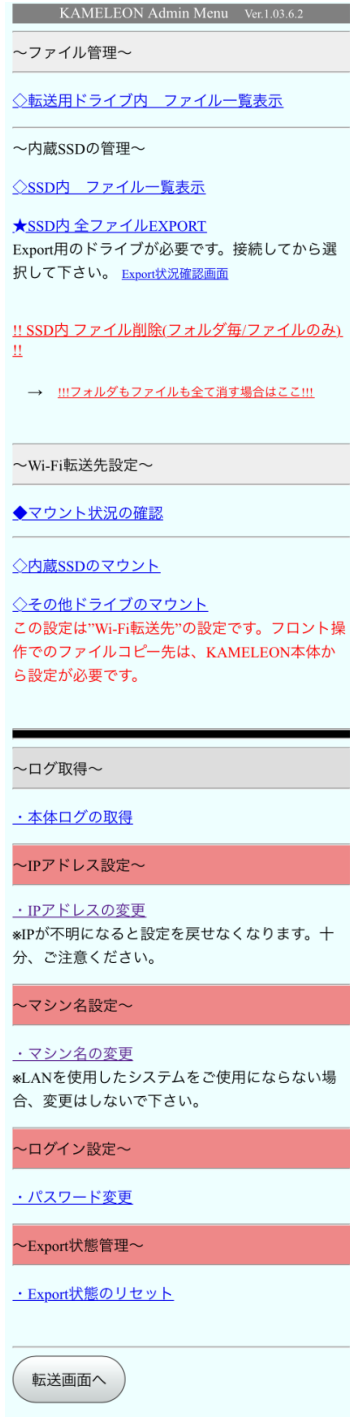
パスワードを入力して、〔ログイン〕をクリックして下さい。

パスワードの初期値は、12345678 です。

図 10 パスワード認証画面

6) 管理用 web サイト TOP 画面

<管理用 Web サイト TOP 画面>



- ① 転送用ドライブ内ファイル一覧・・・P8
- ② SSD 内ファイル一覧・・・P8
- ③ SSD 内全ファイル Export・・・P9
- ④ Export 状況確認画面・・・P9
- ⑤ SSD 内の全ファイル削除・・・P11
- ⑥ SSD 内 upload_files フォルダのクリア・・・
- ⑦ マウント状況の確認・・・P12
- ⑧ 内蔵 SSD のマウント・・・P13
- ⑨ その他ドライブのマウント・・・P13
- ⑩ 本体ログの取得・・・P14
- ⑪ IP アドレスの変更・・・P15
- ⑫ マシン名の変更・・・P17
- ⑬ パスワード変更・・・P17
- ⑭ Export 状態のリセット・・・P18
- ⑮ 転送画面に戻る

図 11 管理用 web サイト TOP 画面

7) 転送用ドライブ内・SSD 内 ファイル一覧



図 12 転送用ドライブ内・SSD 内 ファイル一覧

このページでは、それぞれのフォルダに入っているファイルを確認したり、ダウンロードしたり (PC のみ)、ストリーミングでプレビューすることができます。

PC でダウンロードする場合、右クリックから「対象をファイルに保存」(IE の場合)等の操作で行って下さい。

注意！！

✕ 特殊なダブルバイト文字を含む場合、正しく表示されません。は正しく表示されません。

➤ 日本語(2 バイト)文字の表示を修正しました。(Ver.1.03.6.2)

＜転送用ドライブ内・SSD 内
ファイル一覧 画面＞

転送用ファイルが内蔵 SSD に設定されている時は、同じものが表示されます。

フォルダがあれば、その下の階層も閲覧できます。

8) SSD 内全ファイル Export

このメニューは、SSD 内の全ファイルを任意のメディアに出力する際に使用します。

Export を利用するには、まず、十分な容量のあるメディアを KAMELEON に接続・装填して下さい。

接続するメディアは、Export 用一つのみにすることを推奨します。



SSD 内の転送先フォルダ(X:\upload_files)にあるフォルダおよびその中のファイルは Export されません。

<手順>

- ① Export 先に利用するメディアをマウントします。

内蔵 SSD の Export 対象ファイルの合計容量も表示されるので、Export 先のメディアのサイズと比較し、Export 先として問題ないことを確認し、「次へ」をクリックして下さい。

図 13 SSD 内全ファイル Export①



- ② 正しくマウントされると左図の様な画面が表示されます。

このページには、マウント操作の結果の下に、現在の SSD 内のファイル一覧が表示されます。

Export を開始する場合、 をクリックして下さい。

注意！！

✕ Export 中は、再生操作はできません。(本体のファイルリストが“Now Loading...”の画面になります。)

✕ Export は中断できません。

図 14 SSD 内全ファイル Export②

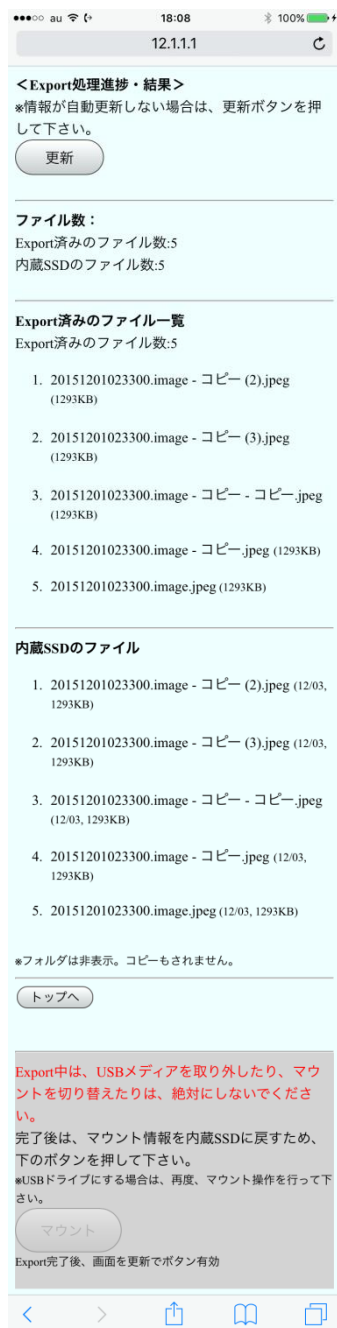


図 15 SSD 内全ファイル
Export 進捗

<Export 進捗確認 画面>

Export を開始すると、Export 先のファイル数及び一覧と、SSD 内のファイル数及び一覧を示す画面に移動します。

Export の完了を確認するには、

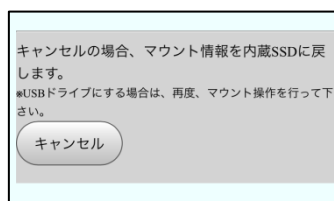
Export 済のファイル数と内蔵 SSD のファイル数を比較し、
且つ、Export 済みのファイル一覧の最後のファイルサイズが元
のファイルと同サイズであることを確認して下さい。

この画面の自動更新がかからない場合、時折、上部の更新ボタンを押して、進捗を確認して下さい。



途中で、トップ画面へ戻ってしまった場合や、別の端末から進捗を確認する場合は、トップ画面の「Export 状況確認画面」をクリックすると同ページが開きます。

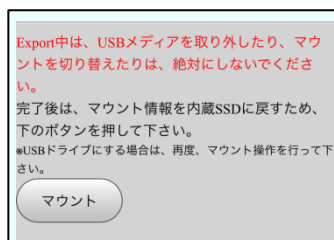
<前画面でキャンセルした場合>



前画面でキャンセルした場合、内蔵 SSD を転送用ドライブとしてマウントし直す操作に移行します。

※マウントについては P13 を参考にして下さい。

<Export 完了後の進捗画面からのマウント操作>



Export 中は、この画面の「マウント」ボタンは無効になっています。完了すると、有効になります。このボタンから内蔵 SSD を転送用ドライブとしてマウントし直す画面に移行します。

※マウントについては P13 を参考にして下さい。

9) SSD 内の全ファイル削除

このメニューは、SSD 内の全ファイル削除することができます。



図 16 SSD 内全ファイル削除

削除は、フォルダ毎に行います。

フォルダがある場合、表示したリスト上のフォルダには、リンクが付きますので、クリックし階層を移動した後、以下の削除操作をします。



ボタンを押すと、**確認画面は挟まず**に即削除されます。十分ご注意ください。

フォルダは削除されません。

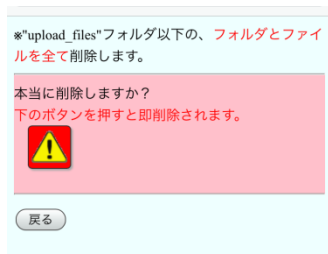


図 17 SSD 内全ファイル削除

転送先フォルダ(X:¥upload_files)内をすべてクリアする場合には、**「!!!フォルダもファイルも全て消す場合はここ!!!」**をクリックして下さい。



ボタンを押すと、**確認画面は挟まず**に即削除されます。十分ご注意ください。

補足

- この操作は、KAMELEON 本体がファイル一覧表示にないと実行できません。
- 削除するファイルがない場合、削除ボタンは有効になりません。

10) マウント状況の確認

このメニューでは、現在のマウント状況を確認できます。



USB ドライブがマウントされている場合、そのドライブ名 +
upload_files フォルダがマウントされていれば正しい状態です。
(例 : J ドライブ = J:¥upload_files)

マウントされていないと、Wi-Fi ファイル転送が実行できません。
マウント方法は、次項を参照ください。

※SSD 内ファイル Export を実施した後に、この画面を開くと、
(n):¥SSD_Export になっている場合があります。

図 18 マウント状況の確認

11) 内蔵 SSD のマウント・その他ドライブのマウント

この画面では、Wi-Fi ファイル転送機能用の転送先を設定します。

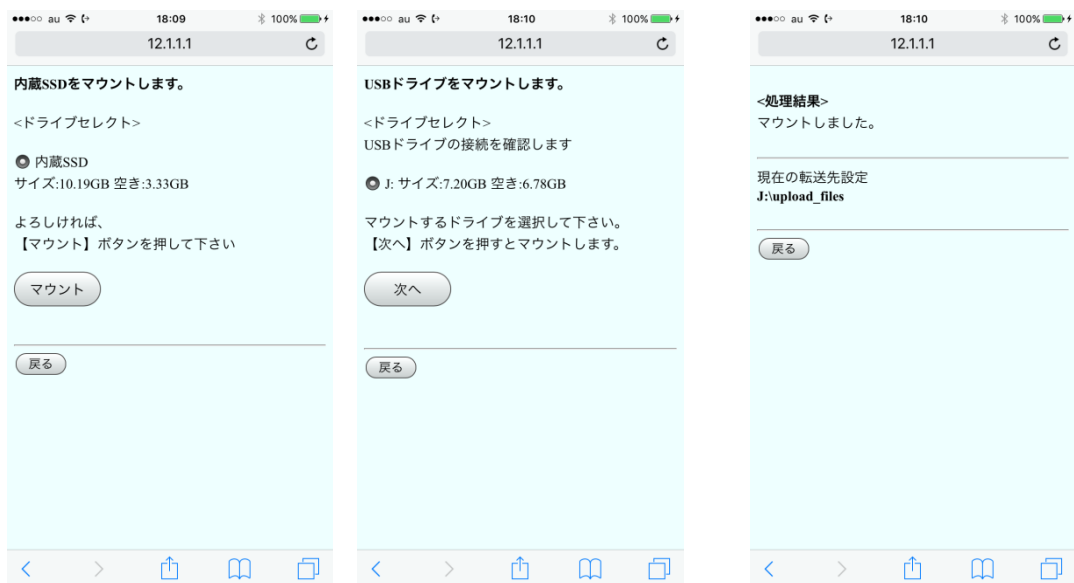


図 19 マウント設定画面

その他ドライブのマウントでは、接続されているドライブの一覧が表示されます。
マウントが完了すると右のような画面が表示されます。

USB ドライブを背面 USB ポートにて運用することをお奨めします。

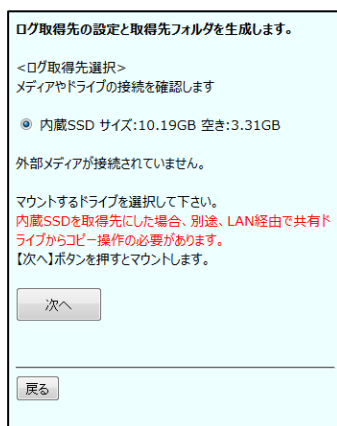
その際、転送先用のドライブのみを接続した状態でマウント操作をすることをお奨めします。

(※前面 USB ポートでも設定可能ですが、運用の邪魔になる可能性があるのでお奨めしません。)

なお、その際、USB ハブは使用可能なので、テンキー等を使用する場合は、USB ハブを使用して接続してください。

12) 本体ログの取得

このメニューでは、本体のログを任意のメディアに取得します。



メニューを開くと接続されているドライブの一覧が表示されます。

ログファイルを取得するドライブを選択し、〔次へ〕を押して下さい。

ログは、選択したドライブに KAMELEON_LOG フォルダを作成し、さらにその中に取得年月日時分のフォルダを作成して、ログファイルを取得します。

(例:2016 年 1 月 20 日 11 時 35 分に E ドライブに取得した場合、E:/KAMELEON_LOG/1601201135/以下)

図 20 本体ログ取得

ログの取得は内蔵 SSD の共有エリアにもコピーすることができます。

その場合、PC 等で KAMELEON 共有エリアにアクセスし、コピーしたログファイルを取得してください。

13) IP アドレスの変更

このメニューでは、各種 IP アドレスを変更できます。

変更した値を反映させるには、**KAMELEON 本体の再起動が必要**です。

Ver.1.03.7.*～は、DHCP 設定・DNS サーバー設定にも対応しました。

12.1.1.1

各種IPアドレスの設定を行います。
変更した設定を有効にするには、KAMELEON本体の再起動が必要です。
再起動後は、設定したIPアドレスで、接続し直して下さい。

[現在のアドレスを確認するにはこちら](#)

ファイル転送用サイト
※現在、Wi-Fiで接続している場合、設定を変更すると接続に影響します。

IPアドレス：
初期値=12.1.1.1 ☐ 変更

サブネットマスク：
初期値=255.255.255.0 ☐ 変更

有線LANポート
※現在、有線LANで接続している場合、設定を変更すると接続に影響します。

☐ DHCPサーバーからIPアドレスを自動的に取得する

☒ IPアドレスを指定する ①

IPアドレス：
初期値=192.168.0.30 ☐ 変更

サブネットマスク：
初期値=255.255.255.0 ☐ 変更

デフォルトゲートウェイ：
初期値='なし' ☐ 変更

***** ②

☒ DNSサーバーのアドレスを設定する ②

☐ DHCPサーバーからDNSサーバーのアドレスを自動的に取得する ③

☒ DNSサーバーのアドレスを指定する ③

プライマリDNSサーバー：
初期値='なし' ☐ 変更

セカンダリDNSサーバー：
初期値='なし' ☐ 変更

＜変更可能な値＞

- ・ Wi-Fi ファイル転送用サイトの IP アドレス(初期値 = 12.1.1.1)
- ・ 同 サブネットマスク(初期値 = 255.255.255.0)
- ・ 背面有線 LAN ポートの IP アドレス(初期値 = 192.168.0.30)
- ・ 同 サブネットマスク(初期値 = 255.255.255.0)
- ・ 同 デフォルトゲートウェイ(初期値 = なし)
- ・ 同 プライマリ DNS サーバー(初期値 = なし)
- ・ 同 セカンダリ DNS サーバー(初期値 = なし)

この画面を開いた直後は、現在の設定内容が表示されます。

有線 LAN ポートにおいて、

DHCP の設定にする場合、①のチェックボックスをチェックしてください。(①'のチェックを外しても同様。)

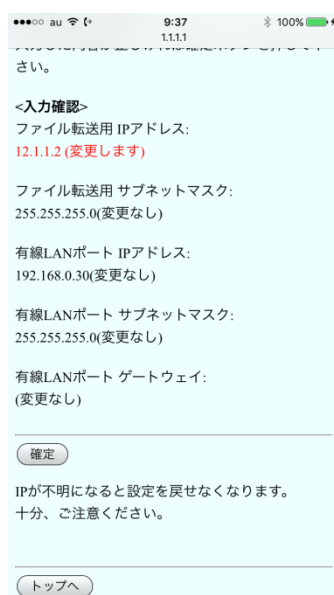
DNS サーバーを設定する場合は、②をチェックしてください。(②のチェックがない場合は、それ以下は表示されません。)

DNS サーバーを DHCP で使用する場合、③をチェックしてください。(③'のチェックを外しても同様。) DNS サーバーの DHCP 選択は、IP アドレスも DHCP 選択になっていないと設定できません。

変更したい値の右のチェックボックスを入れると、値の編集が可能になります。(編集後、変更したくない場合はチェックを外せば無効になります。)

変更内容を入力したら、下部の〔確認〕ボタンを押して下さい。

図 21 IP アドレスの変更



先述の画面で変更した値があれば、下の画面で、“新しい値(変更します)”の様に表示されます。
確認して〔確定〕ボタンを押して下さい。

本体を再起動すると、変更したい値が有効になります。

図 22 IP アドレス変更確認

注意！！

✕ IP アドレスが不明になると設定を戻せなくなります。片方ずつ変更するなど、操作には十分にご注意ください。

補足

- 変更する値がない場合、この画面を開いても確定ボタンは表示されません。
- 入力した値が異常な値の場合、確定ボタンは表示されません。

14) マシン名の設定

(Ver.1.03.7.*～搭載)

このメニューでは、マシン名を変更できます。

複数台の KAMELEON を、同一ネットワーク等で使用する場合、マシン名が重複するため、この作業が必要になります。

注意！！

X 変更した値を反映させるには、**KAMELEON 本体の再起動が必要**です。

X **マシン名の変更は、必ず、起動直後に行ってください！また、設定後は、直ちに、再起動を実行してください！**

本体使用後に設定、もしくは、設定後に本体を使用した場合、再起動後に起動しなくなる危険があります。

12.1.1.1

現在のマシン名:mfp330-pc

マシン名を変更出来ます
設定を有効にするには、KAMELEON本体の再起動が必要です。

※注意※
マシン名の変更は、必ず、起動直後に行ってください！
また、設定後は、直ちに、再起動を実行してください！

本体使用後に設定、もしくは、設定後に本体を使用した場合、再起動後に起動しなくなる危険があります。

新しいマシン名を入力して下さい。
初期値=mfp330-pc
mfp330-pc

※使用可能文字：0～9の数字・大文字と小文字の英字・およびハイフン(-)
※入力可能文字数：1～15文字
※数字だけのコンピュータ名は受け付けられません。

確認

戻る

図 25 マシン名変更入力

ります。

<入力確認>
新しいマシン名:
mfp330-pc

確定

戻る

図 23 マシン名変更確認

変更はありません。

トップへ

12.1.1.1

変更した設定を有効にするため、直ちに KAMELEON本体の再起動をしてください。

トップへ

図 24 マシン名変更

変更したい値を、左に入力して下さい。

※使用可能文字：0～9 の数字・大文字と小文字の英字・およびハイフン(-)

※入力可能文字数：1～15 文字

※数字だけのコンピュータ名は受け付けられません。

入力した値に異常がなければ、図 23 の様に[確定]ボタンが表示されます。

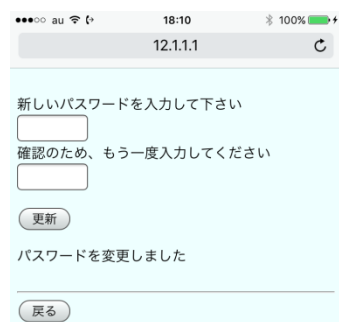
間違いがないことを確認して、[確定]ボタンを押して下さい。

もし、入力した値に変更がなかった場合、図 24 上の画面になります。

入力した値に変更があると、図 24 下の画面になります。この画面が表示されたら、直ちに、本体の再起動を行ってください。

15) パスワード変更

管理画面にログインする際のパスワードを変更することができます。



パスワードの初期値は“12345678”です。

設定したい値を 2 箇所に入力し、〔更新〕を押して下さい。

空欄のまま〔更新〕ボタンを押すと、パスワードなしの設定になります。

図 26 ログインパスワードの変更

16) Export 状態

管理画面のそれぞれのメニューは、Export 中は実行できないように作られています。



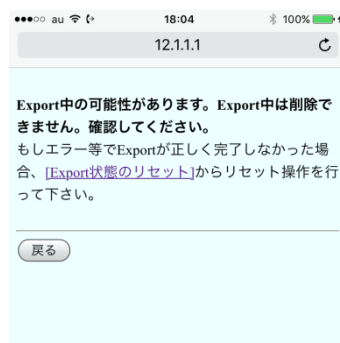
万が一、Export 途中で KAMELEON 本体の電源が落ちてしまったり、完了しても何らかのエラーで Export 完了情報が更新されなかった場合、このメニューから手動で Export 完了情報を書き込みます。

Export 中でないことを十分確認の上、〔RESET〕ボタンを押して下さい。

図 27 Export 情報リセット

17) エラー画面

管理画面のそれぞれのメニューは、本体の状態により操作制限があります。



左の画面が表示された場合、再生などを停止し、本体をファイル一覧画面に戻してください。

右の画面が表示された場合、web からの SSD 内全ファイル Export を実行中の可能性があります。別の端末から実行中でないか確認して下さい。

図 28 管理メニュー エラー画面

3. その他

1) 転送用ページでの転送先表示と容量について

転送用のページでも、現在の転送先設定の確認ができます。



転送用ページの上部に、現在の設定が表示されています。

ドライブ名 (容量)

図 29 転送先設定表示



正しく設定されていない場合、このページを開いた時に、警告ダイアログが表示され、「転送先設定が正しくありません」の表示が出ます。

図 30 転送先設定異常

また、転送先の容量が 1GB を切った場合には転送先表示が黄色で表示され、100MB を切ると警告ダイアログが表示され、転送先表示が赤色で表示されます。



図 31 転送先容量注意・警告

2) 転送用ドライブ(内蔵 SSD 以外)内のファイルの取り扱い

KAMELEON 本体からは、これらのファイルを削除する機能はありません。

これらのファイルの削除や取り出しには、そのメディアを別の PC などに接続して、整理を行って下さい。

転送用に設定していたメディアを取り外した際は、必ず、転送先設定を内蔵 SSD に戻すか、別のメディアのマウント操作を行って下さい。

他の PC で整理した同じメディアを再度接続する時にも、念のため、マウント操作を行って下さい。

※マウント操作方法については、P13「2.11) 内蔵 SSD のマウント・その他ドライブのマウント」をご覧ください。

[illegible]

修理・使用方法・その他メンテナンスのお問い合わせは、まず、購入された販売店へご連絡をお願い致します。

開発・製造：

 **株式会社 オンテック**

ビデオコミュニケーション事業ユニット

東京事業所 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2丁目8番2号 プライム神田ビル 10F

TEL : 03-5256-2061 (代) FAX : 03-5256-2065

本 社 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3丁目20番27号

TEL : 06-6338-8581 (代) FAX : 06-6338-8593

Homepage : <http://www.ontec.co.jp>
